

## 2024年を迎えて

2024年を迎えて早くも1ヶ月が過ぎようとしています。

年明け早々には能登半島で大地震が発生し、甚大な被害がありました。建物の倒壊や火災などによる被害、亡くなった方々や安否不明の方々、避難所生活を余儀なくされている方など、今なお大変な状況が続いています。一方で、捜索や救助、生活の支援など関係機関やボランティアの方々の懸命かつ献身的な活動の様子が報道で伝えられています。

始業式では、全校でお見舞い申し上げ、哀悼の意を表したところですが、生徒会では、今、募金活動を進めてくれています。また、先日の1月17日には、平成7年に起こった「阪神・淡路大震災」について玄関ホールで動画を上映し、災害について考えてもらう機会としました。和歌山県でも南海地震等が心配される中、私たちも自分事として捉え、一人ひとりが日常の生活や災害への備えを見直すとともに「自助・共助」について考え、「今、できることは何か」をしっかりと考えて実行に移していきたいものです。

さて、始業式でも話しましたが、生徒の皆さんは、新年を迎えてそれぞれに目標や抱負など心に誓うものがあったことと思います。その誓いを大切に、常に心にとどめて努力をしてください。学校にとって3学期はしめくくりの大切な時期です。3年生にとっては卒業に向けて中学校生活のまとめの時期となり、進路決定という人生にとっても大きな岐路を迎えます。大きな夢と希望を持って進んでいけるよう願っています。また、1、2年生にとっても学習の成果や毎日の生活を振り返り、新しい学年に進むための準備をしてもらいたいと思います。

常に現状に満足することなく、自分をさらに伸ばそう、向上させようと懸命に努力すること。正しいと信じることを勇気を持って実行し、自分の責任をしっかりと果たすこと。自分さえよければよいといった考えや行動をすることなく、相手の立場に立って考え、思いやりの心を持って接すること。

自分に対して、周りの人に対して、また全ての事柄に対して真剣に向き合い、真剣に考え行動する。学校目標である「真剣に生きる」をしっかりと実践していただきたいと思います。

年度末に向け、教職員も生徒と共に頑張っていきたいと思います。保護者や地域の方々には、本年も引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 【令和5年度 明日の和歌山市を築くジュニア会議】

\*令和6年1月5日（金）に「令和5年度 明日の和歌山市を築くジュニア会議」が和歌山市の市議会議場で開催され、本校生徒会の西馬佑起会長と西畑玲那副会長の2名が代表として出席しました。

明日の和歌山市を築くため、西和中学校は『ルールを守りながら楽しく過ごせる遊び場について』というテーマで質問と提案をさせていただきました。

地域の公園のルールではボールを使った遊びを行うことが禁止されている場合が多く、バスケットボールやサッカーなどの球技を行う場所がないことから、対象年齢に応じて利用時間を分けるなど、いろいろな年齢層の人が使いやすい方法を考えてほしいと提案をしました。それに対して、明和中学校の代表の方から、公園の清掃などを中学校の行事で行い、自分たちの手で管理することも必要である。また、みんなが使いやすい公園のルールを自分たちで考えていかなければいけないのではないかと答弁をいただきました。

また、当日は尾花市長、戸田市議会議長から、温かいコメントと熱意のこもったご助言をいただきました。



※この会議の様子は、和歌山市議会ホームページで視聴することができます。  
(右のQRコードよりアクセスできます。)



## 【生徒たちの活躍】

\*冬休み以降、部活動等で活躍、表彰された皆さんです。おめでとうございます。

### ○卓球部

第25回全国中学選抜卓球大会県予選会

選抜の部女子団体第2位

中村 紗知 藤井 穂乃華 田邊 心夢 大西 結愛 三井 梨瑚 貴志 菜摘

交流戦の部男子団体第1位

福澤 仁 渡邊 瑛太 松本 朋也 安武 孝真 村田 采仁

### ○吹奏楽部

令和5年度和歌山市中学校アンサンブルコンテスト

金管五重奏 金賞(市代表)

久保 綾夏 和田茉莉可 福田 明楽 星田奏一郎 山野 未翔

木管四重奏 金賞(市代表)

藤田 絢香 垂井 美冬 岩橋 桃香 宮本 蒼太

第52回和歌山県アンサンブルコンテスト

金管五重奏 金賞

久保 綾夏 和田茉莉可 福田 明楽 星田奏一郎 山野 未翔

木管四重奏 金賞(県代表)

藤田 絢香 垂井 美冬 岩橋 桃香 宮本 蒼太

### ○美術部

第24回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール 和歌山海上保安部長賞

北橋 沙希

### ○理科

第77回和歌山市児童生徒科学作品展

奨励賞 伊藤 柚希

入選 藤本 ゆうあ 井上 鈴 赤澤 日菜子 玉出 誠 青木 柚羽 北島 悠 福永 純大

### ○硬式テニス部

2023和歌山県中学生ステップアップテニス大会

中1男子シングルス 第3位 大東 優希

## 【今月の言葉】

「人生、チャレンジすることに意義があり、できるかできないかではなくて やるか、やらないか」小久保裕紀

2024年シーズンからプロ野球の福岡ソフトバンクホークス1軍監督を務める小久保裕紀さんの言葉です。小久保監督は、和歌山市のご出身で、砂山小学校から西和中学校に進まれた大先輩です。現役時代はダイエーホークスなどで活躍され、侍ジャパンの監督なども務められました。

(正門を入ったところに2000本安打を記念した植樹の際のプレートがあります。)

2000本安打達成など、現役時代は輝かしい活躍をされていますが、ケガなどでご苦労された時もあったようです。知り合いの方などからお話をうかがうと、練習量や練習に取り組む姿勢は本当に目を見張るものがあり、素晴らしかったそうです。

人生、いろんな場面でどうしようかと迷うことも数多くあると思いますが、

「やるか、やらないか」 不断の努力があつてこそこの言葉だと思います。



※学校の様子は西和中学校ホームページでも紹介しています。  
下記アドレスまたは右のQRコードよりアクセスできます。

<https://www.wakayama-wky.ed.jp/seiwa/>

